

# 令和7年度 授業改善推進プラン2年（課題分析と授業改善策）

|          | 課題分析                                                                                                      | 授業改善策                                                                                                                                           | 2学期 | 3学期 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 国語       | ①誤字脱字の無い、正しい表記で文章を書くことに課題がある。<br>②内容を落とさないように、集中して聞くことに課題がある。                                             | ①書いた文章を、自分で読み返したり、友達と読み合ったりする活動を設定する。日記などの書く活動を継続して行い、日常的に文章を書く経験が積めるように指導する。<br>②たずねたり、応答したり、少人数で話し合う活動を取り入れる。話の内容を捉えて、感想をもち、伝えることができるように指導する。 |     |     |
| 算数       | ①繰り上がりや繰り下がりやの計算の仕方を確実に定着させるための支援が必要である。<br>②文章問題を読み取れず立式できない児童が多く、改善策が必要である。                             | ①授業の初めや朝学習などの時間を活用し、プリント学習に定期的に取り組むことと、学びポケットのナビマに継続的に取り組み、計算力を高めていく。<br>②習熟度に応じて、図や具体物で視覚的に表すなどの支援を行い、問題文の「わかっていること」と「もとめるもの」を明確にすることを徹底する。    |     |     |
| 生活       | ①見付けたことや分かったことを表現することに課題がある児童が多く、支援が必要である。<br>②体験を楽しんだ後の学びや自分自身の成長への気付きを深めるための支援が必要である。                   | ①伝えたいことを選ぶポイントを具体的に明示し、表現方法を選択できるように例示する。写真の活用も積極的にすすめる。<br>②作品や文章の共有を簡略化し、児童同士の交流を通して、学びや成長を気付くことができるようにさせていく。                                 |     |     |
| 音楽       | ①元気に表現できるが、自分の歌声の強弱や音色を意識していない児童が多いため、改善策が必要である。<br>②鍵盤ハーモニカでドレミの位置や音符を読めるようにするための支援が必要である。               | ①身体表現を取り入れて強弱や音色を意識したり、友達と表現を聞き合ったりして自分の表現に気付くことができるようにする。<br>②鍵盤を拡大した物を掲示して、視覚的に分かるようにしたり、楽譜を音階で読んだりしたりする練習をする。                                |     |     |
| 図画工作     | ①課題により、制作進度の差が大きいことがある。<br>②その都度全体にルール説明をしてきたが、机間指導の途中で質問に来る児童がいて、個人指導がきちんと出来ないことが多い。                     | ①早めに制作終了した児童には、豊かな発想が育まれるように「ミニ本」や「色模様づくり」などのプリントを用意しておく。<br>②引き続き、一人ひとりを大切に指導するためのルールであることを伝え、習慣づけていく。                                         |     |     |
| 体育       | ①各領域に応じた運動の中心的な楽しさに触れることで、児童が夢中になって取り組めるような授業を展開していく必要がある。<br>②児童が前向きに運動課題に取り組めるような、教師の言葉掛けを充実させていく必要がある。 | ①運動課題と児童の実態のバランスを見極めて、教材作りをしていく。学びの状況に適した課題を提示していく。<br>②児童の学びを認め称賛する言葉掛けを、多くの児童に対して行えるように、振り返りカードを活用する。授業後でも、教師からの前向きな評価や、児童自身の振り返りを行えるようにする。   |     |     |
| 道徳       | ①道徳的価値から、自分事として捉えることが難しい児童への対応が必要がある。                                                                     | ①自分事として捉えられるように、発問の仕方やワークシートをねらいに即して精選していく。子供たちの考えを適宜、教師が価値付けていく。                                                                               |     |     |
| ICT端末の活用 | ①活用について興味はあるが、操作に不慣れな部分が多く、様々な操作方法について課題がある。                                                              | ①カメラ機能を活用し、観察の対象を写真として記録する機会を増やす。<br>②タイピングができない低学年でも主体的に調べ学習をすることができるように、手書き入力、音声入力を使用させる。<br>③学習活動における対話や発表の場面を録音・録画し、児童の自己評価や教師の評価に活用する。     |     |     |